

子どもたちが地域で

健やかに育つために...



出雲市放課後子どもプランを策定

出雲市のプラン(計画)は地域実態を踏まえた内容

少子化や核家族化が進み、保護者の就労形態が多様化するなど、子どもたちを取り巻く環境は、かつてとは大きく変化してきています。子どもたちが学校生活以外の時間を安心して健やかに過ごせるようにしたいというのは、大人の共通の願いです。

そこで、出雲市では、国が19年度からスタートさせる「放課後子どもプラン」を受けて、3月に『出雲市放課後子どもプラン』(計画期間:平成19年度~21年度)を策定しました。このプランの内容についてお知らせします。

出雲市放課後子どもプランは、市内の子どもたちの総合的な放課後対策について、基本的事項を定めたものです。具体的には、文部科学省の放課後子ども教室推進事業(以下「子ども教室」といふ)と厚生労働省の放課後児童健全育成事業(以下「児童クラブ」といふ)の2つを、計画的にまた円滑に進めていくというものです。

このプランを作るにあたって、小学校、保護者、児童クラブ、自治協会長ほか地域の代表などで構成する「出雲市放課後子どもプラン運営委員会準備会(西田郁郎会長・17人)」を2月に立ち上げました。

そこで、さまざまな立場の委員が真剣に議論を交わし、地域実態を踏まえてまとめた案を基に、プランを策定しました。

この準備会は、19年度からは「出雲市放課後子どもプラン運営委員会」に移行します。そしてプランを進める中で検証などを行いながら、必要に応じて見直しを行うことになっています。

プランに5つの基本的考え方を明記

このプランに取り組むにあたって、次の5つの基本的な考え方を盛り込んでいます。

子どもたちを地域全体で育むという観点で事業を行う。子育ては家庭が第一義的な責任を持つという基本認識のもの

とで事業を行う。子ども自身が自己の行動に責任を持つという、自立心を育てる共通認識を持って事業を行う。

事業実施にあたっては、学校との連携が十分取れる体制とする。

事業に取り組む要・不要については、地域実情に応じて、地域で判断する。

2つの事業で全ての小学生の安心・安全な放課後を期待

『子ども教室』と『児童クラブ』の違いは3ページの別表1に示すとおりです。いずれも市が運営母体に委託する形での実施となります。

両事業により、全ての小学生が放課後、安心・安全に過ごすことができることを期待しています。

「ごすことができることを期待しています。」

ただし、地域の実情によっては、必ずしも両方の事業が実施されるとは限りません。

事業実施は、地域学校運営協議会が中心に検討

出雲市のプランでは、子どもたちを地域全体で育むという観点から、地域主体の運営組織を母体とした「地域推進組織」を地域(小学校区)ごとに設置してもらい、「地域実情を踏まえて実施する」ことを基本としています。

このため、「地域推進組織」については、現在、各小学校区に設置されている「地域学校運営協議会」が中心となって、考えてもらうことになっています。

地域の皆さんの協力を期待

放課後子どもプランは、学校・地域・家庭・行政が連携を取りながら、子どもたちが健やかに育っていくために取り組むものです。

地域の皆さんのお力添えをよろしく願っています。

措置により実施することとしています。

出雲市放課後子どもプランで取り組む事業の概要

(別表1)

放課後子ども教室推進事業(子ども教室)	事業名	放課後児童健全育成事業(児童クラブ)
小学校1~6年生 地域の実情に応じ、幼児、中学生の参加も可	対象児童	共働き家庭などの留守家庭 おおむね10歳まで(小学校1~3年生)
来館型 名簿制(参加児童を名簿で把握)	参加形態	預かり型 入会登録制(入会申し込み、審査で決定)
小学校利用可能スペース、コミュニティセンターなど、公共的施設を利用	実施場所	開設を承認された専用室で実施
地域で決定	運営日数など	月~金(夏休みなど長期休業中も実施) 土曜日実施のクラブもあります
地域の有償・無償ボランティア 安全管理員・学習アドバイザー 地域無償ボランティア	スタッフ	専任指導員(教員、保育士などの有資格者)・ 補助員
原則なし ただし、保険料や実費などの徴収は可	保護者負担金	月7,000円(このほか、おやつ代実費)



安心・安全な子どもの居場所を設け、文化スポーツ活動や地域交流を行う「子ども教室」(写真は檜山なかよし教室)



放課後の遊びや生活の場を確保し、仕事と子育ての両立を支援する「児童クラブ」(写真は塩冶第2学童クラブ)

子どもプランに期待



出雲市放課後子どもプラン運営委員会準備会 西田郁郎 会長

地域の子育てに期待

保護者や学校の思い、児童クラブなどのスタッフの声を取り入れ、地域の実情が大きく違うことも考慮したプランができました。事業の実施には、地域が子どもたちを育てようとの気構えが欠かせません。地域の教育力を発揮していきたいものです。



出雲市放課後子どもプラン運営委員会準備会 雲藤芳子 副会長

地域の一人として参画を

小学生の保護者、また地域の子育てグループのメンバーとして、このプランが動き出すのが楽しみです。子どもは過保護にしないで、自ら考え自ら行動できる子に育ててほしいと願います。保護者にも地域の一人として、積極的に関わってほしいですね。